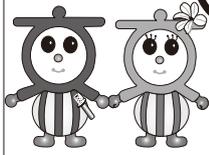


スポーツ
たちかわ



体協キャラクター
たちえもん たちみちゃん

(特非)
立川市体育協会
〒190-0015 立川市泉町786-11
泉市民体育館内
TEL・FAX 042-534-1483

発行責任者 河内 勝正
編集責任者 木戸口 辰雄

e-mail bz821830@bz04.plala.or.jp

第68回
立川市民体育大会
於 6月15日(日)
開会式

6月15日(日)12の地区体育会と29の競技団体から選手・役員が各団旗を先頭に泉市民体育館内を行進して今年の体育大会の幕が開け、立川市長 清水庄平大会会長から、激励とどこおり無く各競技が行われますことを願うとの挨拶があった。

入場行進の演奏は立川第七中学校吹奏楽部の生徒の皆さんに担当していただいた。

第67回大会における総合優勝の幸町体育会から優勝旗とカップが大会会長に返還され、各対抗競技における優勝旗も大会本部に返還された。

地区体育会ののほり旗が並ぶ中ご来賓から、Wカップ・サッカー、ブラジル大会では、日本代表選手が戦っているさなかであり、元気良く運動し、怪我の無いようスポーツを楽しんでくださいと祝辞をいただいた。

立川市を代表して活躍された、選手、指導者、団体の表彰式も行われた。

選手宣誓は、幸町体育会の仲山恭司さん・泉澤百花さんお二人が団旗を持って宣言した。エキジビションにおいても、第七中学校顧問の小島先生が指揮をされ、吹奏楽の演奏をしばし拝聴して閉会となった。



第七中学校 吹奏楽部



泉市民体育館の指定管理について

立川市体育協会は、本年4月1日から泉市民体育館の管理運営等の業務を、指定管理者(シンコースポーツ(株)・(特非)立川市体育協会・アズビル(株)の3者による共同事業体)の一員として行うこととなりました。

本協会は、昭和21年(1946年)の創立以来、地域住民を対象としたスポーツ振興に関する諸事業を行うことにより、青少年から高齢者までが、健康で豊かな生活が送れる社会の実現に寄与することを目的に活動してまいりました。

市民体育大会や各種スポーツ事業を主管し、行政の掲げる生涯スポーツの普及活動にも全面的に協力する一方、NPO法人取得後は、より公益性を高め、新事業として、立川シティハーフマラソンの運営や当市特有の地域体育会を母体とした総合型地域スポーツクラブの育成などに取り組んでまい

りました。これまでの活動により得た知見等から体育施設改善具申、普通救命士の育成、ニュースポーツの普及、小中学校との交流、スポーツ指導者の養成、ジュニア育成等々、さらに活動を継続し充実・拡大を図ってまいります。

指定管理者となったことで、市のスポーツ行政に関する各種事業・業務に対し、これまで以上に直接的に深い係わりをもって、市民スポーツの振興を図れるという立場になりました。地域のスポーツ活動の支援や多様化する市民ニーズを把握し、体育館利用者のサービスの向上に努めるとともに、今後もさらに、市民スポーツの振興・生涯スポーツの普及並びに本協会の自立促進とガバナンス(組織統治)の強化を目指すものであります。

第68回立川市体育協会 (特定非営利活動法人第5回) 通常総会



(衆議院議員 長島昭久 氏)

会長挨拶

皆様、今晩は、体協の通常総会もおかげさまで、68期を迎えることができました。

本日の総会には、ご来賓ならびに会員の皆様のご出席を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は、東京多摩摩国体の開催他立川シテイハーフマラソン2014・泉市民体育館指定管理業務の受託・地域スポーツクラブの育成推進等ほぼ計画どおりの実績をあげることができました。

これも偏に皆様のご支援・御協力のおかげと心よりお礼申し上げます。

皆様のご協力により一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ます。

本年度は、基本的には前年度施策を継承するとともに、ままたちやりレース・スポーツ施設の拡充として真如武蔵村山体育館及びグラウンドの借用を図るとともに武蔵村山市体育協会との共催によるグラウンドゴルフ大会の開催・

柴崎市民体育館指定管理業務に向けた準備等を新たな施策として取り組んでいく所存でございます。

皆様のご協力により一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

皆様のご協力により一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

皆様のご協力により一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

スポーツ振興課よりご挨拶



立川市教育委員会事務局
教育部 スポーツ振興課長

井上 隆一

平成26年4月1日より教育部スポーツ振興課長を拝命いたしました井上と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。貴会会員の皆様におかれましては、日頃より本市体育行政にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

以前担当させて頂きました第68回国民体育大会開催では、貴会会員の皆様のご協力により、本市全体で約4万6千人の方々をお迎えするとともに、約4千人の小・中学生児童・生徒がトップアスリートの醸し出すプレーに触れ、スポーツの素晴らしさを体感する機会となりました。

トップアスリートのプレーと言えば、本年6〜7月にブラジルで行われたサッカーワールドカップが思い出されます。日本は残念な結果となったものの、日本人サポーターの素晴らしい観戦マナーが報じられ、日本人の「おもてなしの心」が世界中から称賛されました。「観るスポーツ」のファインプレーと言えるでしょう。

本市では、「だれでも、いつでも、いつまでも」スポーツに親しむ機会の創出に取り組んでおりますが、日頃より地域におけるスポーツ振興にご尽力戴いている貴会とともに、さらに高めてまいりたいと思っております。今後も貴会会員の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

結びに貴会並びに会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

5月17日(土)たましんR.I.S.U R.Uホール第1会議室において開催された。清水市長をはじめご来賓の方々から、今後も体育協会のスポーツ振興事業や活動に期待する旨の激励の言葉をいただいた。

正会員である地区体育会長及び競技団体長の出席数が定足数に達し総会が成立した旨報告があり、次第に則り、議長にパレールボール連盟会長の武石成文氏を選出し議事に入った。

平成25年度の事業報告・決算報告、平成26年度の事業計画(案)・予算(案)等の各議案が審議され、すべて承認され、本年度の各事業が始まることになった。

立川スポレクフェスタ2014



4月5日(土)泉市民体育館において開会式が行われた。立川市長清水庄平大会会長から、シニア世代におけるスポーツがこれほどに盛んなのは健康増進に貢献している事につながり、他市には例を見ない

活動であると感謝と激励の言葉がありました。

ご来賓の、市議会議長、自治連会長からも、この大会の果たす役割の大切さと大会役員の皆様のご苦勞にねぎらいの言葉をいただきました。

なお、第67回市民体育大会閉会式が記録的な大雪に見舞われ中止になったことから、市民体育大会の成績発表と表彰が、合わせて行われ、総合優勝・幸町体育会、準優勝・若葉町体育会、第三位・錦町体育会、四位・砂川体育会、五位・富士見町体育会に表彰状・優勝旗・カップ・盾等が授与、砂川体育会水泳女子が10年連続優勝という輝かしい記録で特別表彰されました。

開会式の閉めには、ダンススポーツ連盟の皆さんが、各自のコスチュームで日頃の成果を可憐に舞っていただき、小学生のペアのダンスが目を引きました。



砂川体育会
女子水泳競技10連覇

創立40周年を迎えるにあたり

立川市テニス連盟 会長 橋本 幸雄

立川市テニス連盟は、1974年に森永隆弘氏を初代会長として発足以来40周年を迎えることができましたことは、会員の皆様方のご協力とご支援の賜物であり、将来への再飛躍へのスタートなるものです。創立30周年からの10年間を振り返ってみますと、テニス事業の再生と革新に向けての活動の連続で有りました。市民体育大会において、平成17年度には中学生の部、シニアダブルスの部を組み入れ、市民大会の幅を拡大しました。平成17年度に連盟ホームページを立ち上げ、また、自治大学校テニスコートの利用が可能となり、利用規則の制定を行いました。更に、利用者の増加によるテニスコート不足のため、立川市のテニスコート貸出利用時間外である早朝に練習をする「早朝事業」の確立を図りました。現在は、泉町・砂川及び錦町テニスコートの利用許可を取得し、早朝事業に参加するのは、200名余に達しています。更に、市営テニスコート利用は、飽くまでも立川市民中心でならないとの観点から、連盟会員の立川市在住・在勤者比率50%以上確保を命題として、参加団体の協力をお願いいたしました。そ



の結果、現在では、会員数も610名を超え、在住・在勤者比率は70%を超えるものとなりました。また、連盟主催大会入賞者には、既成のものでなく、立川テニス連盟独自の賞状をという発想に立ち、パソコンとプリンターを会場に持込み、即時に写真付きの賞状を作成しました。当初は操作不慣れで失敗作もありましたが、現在では胸を張れるものとなりました。今後の取り組みとして、高齢者受け入れに力を傾注していくことと、砂川テニスコートの代替としての国有地跡地テニスコートの早期完成に尽力を尽くしてまいります。最後に、この10年間にわたり実行してきた施策を、更に充実させるため、立川市・立川市体育協会及び関係団体の温かいご支援をお願いするものです。

加盟団体紹介 ゲートボール協会

小学生から90歳の高齢者まで

ゲートボール協会は昭和57年10月25日に創立し、会員739名、クラブ数63で発足致しました。58年4月1日には立川市体育協会に加盟し平成24年には創立30周年を迎えました。会員は年々減少を重ね、現在は171名、クラブ数26、会員を年齢別に見ますと、60代は12%、70代は54%、80代は31%、90代は3%となっております。まさに高齢者の団体です。

各種の競技を開催しており立川スポレクフェスタは、立川市より委託金を戴き、抽選によるチーム分けをし大会を行っております。市民体育大会も委託金を戴き実施致し、これはクラブ対抗のオープン戦と体育会別の地区対抗戦を行っております。24年度より高齢者の健康維持、増進に寄与することを目的に高齢者



を対象としたシニアスポーツ振興事業が実施される事になり、ゲートボール事業もその対象となり、東京都より交付金が支給される事になりました。

交付金は春季及び秋季大会で会員の皆様の為に有効に使わせて頂いております。東京都、体育協会関係としては都民体育大会、市町村大会、都民生涯スポーツ大会、シニア健康スポーツフェスティバルとあります。上部団体の東京都ゲートボール連合の大会はスプリング大会、世代交流大会、メンズ大会、レディース大会、リレーシオン3大会、全日本選手権大会、南関東選手権大会、全国選抜大会、初心者大会、オートム大会、オール東京選手権大会と数多くの大会に競技者を派遣致しております。

立川市の協会の行事はお花見大会、レディース大会、メンズ大会、打ち納め大会、打ち始め大会等あり抽選でチーム分けをし、親善大会模様で実施致しております。その他にシルバー大会があります。シルバー大学の講座にスポーツ部門として初めてゲート



ボール講座が加わったのは平成七年で、1期生から現在の19期生まで20年も続いており、卒業間近の7月には初心者大会にも遠征しております。そして毎年3月にはシルバー大学OB対抗戦が開かれます。この大会はまるで同窓会のように同期の仲間と久しぶりにチームを組んで競技を楽しんでおります。

又、以前より行っていた小学六年生の総合的な学習の交流に加え、今年から南砂小学校にゲートボールクラブが発足致しました。そのクラブ活動に会員数名がお手伝いをしており、先々小・中学生大会に参加出来るようになる事を願っております。

当協会は年齢、性別に関係なく手軽に楽しめるスポーツとして、色々な行事をこなしながら発展に寄与していく所存です。

3月1日(日)

立川で春、先どり!!

立川シティ
ハーフマラソン
2015

立川シティハーフマラソン2015開催

Guest



千葉真子 エリック・ワイナイナ

立川シティハーフマラソン2015は、平成27年3月1日(日)に開催が決まり、10月15日(水)よりハーフマラソンの立川市民優先募集が開始され、11月1日(土)より一般募集が開始となります。



陸上自衛隊駐屯地滑走路 2014 スタート模様 写真提供 報知新聞

第47回 東京都市町村総合体育大会

開会式が7月26日(土)、狛江市市民ホール「エコルマホール」において華やかに開催された。昨年は東京多摩国体が開催されたため2年ぶりの開催となった。

各市町村のプラカードと団旗の入場に続き前回大会の優勝・準優勝・第三位の立川市からカップの返還が行われ、大会会長の挨拶に引き続き、2020東京オリンピック・パラリンピック推進担当者からこの大会がスポーツの普及躍進に大いに期待をしているとの挨拶があり、開催市の狛江市長からは歓迎の、多くの来賓の方々からは激励の言葉があった。選手宣誓は、狛江市の剣道の代表選手が元気に行った。



特別功労者表彰と功労者の表彰が行われ、立川市からは相撲連盟理事の白倉良一氏が受彰された。

今回の大会は、狛江市を中心とした第4ブロックの7市が、各競技の運営・集計等を担当し開催された。成績は、男子7位・女子5位・総合6位でした。



第36回市民ハイキングラリー

(周回コース11キロ)

5月25日(日)、天候に恵まれ午前10時河内会長のスタートの合図で陸上競技場入口をスタート、根川に沿って柴崎体育館前、残堀川から民俗資料館(第一ポイント)を通過して新奥多摩街道を通り、福島中横から多摩川へ出て福島第五児童公園(第二ポイント)、多摩川を下り、中央線下(第三ポイント)を通過し、ゴールの陸上競技場へ27組(70名)の方々が全員無事に事故もなくゴールしました。来年も多数の参加をお待ちしております。



立川市武術太極拳連盟 30周年記念祝賀会

立川市武術太極拳連盟は30周年を迎え、8月9日立川グランドホテルにおいて体育協会会長河内勝正氏、市議会議員守重夏樹氏のご臨席を賜り、約70名の会員が参加、30周年記念祝賀会を盛大に挙行いたしました。30年の長きにわたり、連盟を維持してこられたのも体育協会のみならずご支援・ご協力と会員のみならずまの努力の賜物と深く感謝するとともに、連盟の未来を見据えて次なる30年に向けて踏み出すためのパワーを一同で確認する会となりました。当初は台湾から来た陳洋嶺式太極拳をやっていたが、中国との国交がはじまり、現在広く行われている簡化太極拳に移行し、これを長く続けています。どちらかという武術よりも健康を目的とした、女性や高齢者に適したものとして練習しているので、興味のある方はいつでも当連盟にご連絡ください。



平成25年度
優良選手表彰
(敬称略)

第三中学校

平成25年度第1回東京都中学校ソフトテニス強化研修大会 第3位
平成25年度第2回東京都中学校ソフトテニス強化研修大会 第3位
佐藤 柚花 入江さくら

第57回東京都中学校

ソフトテニス新人大会
男子の部団体戦 第5位
立川三中ソフトテニス部男子

山崎 龍一 高橋 慶太
小林 功典 中島 遼
近藤 臣成 川井 駿
丸山 慶人 金井 勇樹

第61回東京都中学校学年別水泳競技大会

女子100m自由形第7位
一戸 亜美
男子50m自由形第6位
都筑 竜也

第37回関東中学校水泳競技大会

女子100m背泳ぎ第6位
都筑 竜也
女子100m背泳ぎ第5位
都筑 愛

立川国際中等教育学校

第56回東京都中学校バドミントン新人大会
男子シングルス 準優勝
惣宇利 亮太

第七中学校

第8回東京都中学校少林寺拳法大会
男子総合優勝
第4回関東中学校少林寺拳法大会
女子総合優勝
第七中学校少林寺拳法部

第8回東京都中学校少林寺拳法大会
男子総合優勝、男子団体演武の部準優勝
2013年東京都少林寺拳法大会
中学生団体の部第3位

熊野 大貴 天野 拓馬
橋本 智哉 康井 昭吾
野島 康平 上野 賢龍
男子単独演武の部第4位 熊野 大貴
男子単独演武の部第6位 天野 拓馬
男子組演武の部第6位 上野 賢龍

第4回関東中学校少林寺拳法大会
女子総合優勝、女子団体演武の部優勝
高橋 花音 石川 希恵
岡田 菜生 稲場 由優
アヱイカリはる 小澤 晴莉

2013年東京都少林寺拳法大会
中学生団体の部準優勝
高橋 花音 石川 希恵
岡田 菜生 稲場 由優

女子単独演武の部優勝 高橋 花音
第65回東京都中学校選手権
水泳競技大会
400m自由形第6位
島 海駆

第九中学校

第52回東京都中学校総合体育大会
柔道大会男子90kg超級第3位
村田 圭祐
第52回東京都中学校総合体育大会
剣道女子個人の部第3位
本多 華子

柏小学校

第37回イトマン招待水泳競技大会
200mメドレーリレー第8位
箕輪 絢香

テニス連盟

関東ジュニアテニスツアー桜田大会
16歳以下女子シングルス ベスト8
高橋 遥菜

柔道連盟

第59回東京都中学校新人体重別
女子柔道選手権大会57kg級第5位
大下 美穂

平成26年度表彰者一覧 (敬称略)



◆特別優秀選手賞

団体名	氏名	摘要
バドミントン協会	一戸 和美	第6回世界シニアバドミントントルコ大会 35歳以上女子ダブルス 第3位

◆功労賞

団体名	氏名
バドミントン協会	神崎 恵子

◆優秀指導者賞

団体名	氏名	摘要
新体操連盟	五明みさ子	第68回国民体育大会 体操競技会 新体操競技 総合優勝

◆社会体育優良団体賞

団体名
ルネサンスダンスサークル

◆優秀選手賞

団体名	氏名	摘要
西砂川地区体育会	田中 麟太郎	第11回阿里山盃日台国際野球大会出場
第十小学校	渡辺 海	第6回U-15ボクシング全国大会小学生32.5kg級 優勝
柏小学校	前田 泰雅	第33回 全国空手道選手権大会小学6年生型の部 優勝
	箕輪 絢香	第37回 イトマン招待水泳競技大会200mメドレーリレー 第8位
バドミントン協会	内野 靖司	平成25年度第51回全自衛隊総合バドミントン選手権大会 男子40歳以上ダブルスの部 優勝
空手道連盟	佐藤 幹太 足立 皓麻 萩原 竜之介 岩井 太一郎	平成25年度全日本少年少女武道(空手)錬成大会 中学生の部 団体戦組み手、形 第1位
水泳協会	泉澤 百花	第58回 日本泳法大会ジュニア泳法競技女子 優勝

東京都体育協会
生涯スポーツ表彰



功労者
中村 清氏



優良団体
山岳連盟

東京都市町村
体育協会連合会表彰



功労者
白倉 良一氏

平成26年度ジュニア育成地域推進事業

新体操ジュニア実技講習会

新体操連盟 副会長 坂下 香澄

平成26年4月26日(土)27日(日)7月6日(日)泉市民体育館において、ジュニア育成地域推進事業として、新体操ジュニア実技講習会を行いました。3日間で、小学生、中学生、高校生合わせて、155名の参加がありました。

指導は、スポーツ祭東京2013で、新体操強化ヘッドコーチを担い、チーム東京を優勝に導いた五明みさ子さん。全日本社会人女子新体操選手権大会個人総合優勝の経歴をもつ立川市在住の浅沼まきさん。その他、世界大会経験者である指導者を講師に、基礎運動・柔軟・手具操作・コーディネーション・ステップを行いました。



とができた「手具の操作で新しいやり方を教えてもらっておもしろかった」と感想がありました。また、試合作品をチェックしていただいたことで、直後の大会で、ノミースで演技をすることができた団体もありました。

今年は、新たに、ダンサー・振付師の山崎拓也さん、コンテンポラリーダンサーの柳本雅弘さんを招いて、新体操以外の身体表現を学ぶ機会を得ることができました。第一線で活動しているプロフェッショナルなダンサーの方たちから、「何のためか」に新体操をやっているのか?と問いかけられ、何かを学びとつていく姿勢や表現することについて考えさせられました。新体操の先生とは違った角度からの指導は新鮮で、楽しく身体を動かす「リズム感がよくなった」と喜んでいました。

2014年育成合宿

立川市水泳協会
倉本 和貴

以前は夏に開催していた合宿を、渋滞や混雑解消の為、時期を変え開催して行いました。

しかし、年々参加者の減少から、本年は夏休みなら参加者が増えるの見込み、10月開催から7月開催へ変更しました。

結果、参加人数は変わらず、中学生などは夏の塾や習い事が大きく影響した為でした。

7月からのバスの規制などから、交通費増の為、合宿初の列車利用での移動になりました。人数が少なかった事もあり、引率の負担はそれほどもなく、往復ともに問題なく移動することが出来ました。

合宿練習での成果ですが、初めての参加が約半分を占め、子供達は緊張しながらスタートしたようです。練習は時間も量も普段よりはるかに多く、徐々に慣れるよう対応して行きました。普段と違う練習メニューにより、初日のタイムと最終日のタイムとの違いが、個々それぞれ自己記録更新につながり、合宿での辛い練習に耐えた結果が大きく自信につながったようです。ジュニアオリンピック参加予定の選手が1名おり、合宿数日後の為、最後の調整と練習の場となり、合宿中でのベスト記録にほぼ近いタイムが出ており、大会参加への期待と本人のメンタル面での強化につながりました。



ジュニアオリンピックの結果ですが、入賞にはなりませんでしたが、22位と好成績が残せたかと思えます。今後、更なる大きな大会など、出場できる選手育成に努めてまいりたいと思います。

また、練習は水泳競技です。個人プレーになります。チームワークならびに練習仲間を意識向上に、練習終了後の自由時間や移動など助け合い、後輩の面倒を見るなど、各自仲間意識が芽生え、初日と最終日の友達仲間に対する対応が大きく変化。普段の練習にもいい結果が出ると期待しています。

立川市ソフトテニス実技研修会

成果報告

立川市ソフトテニス連盟

理事長 佐藤 耕司

1. 第8回ジュニア育成

実技研修会実施

今年7月29日(火)泉市民体育館で、田中弘日本ナショナルチーム女子チーム監督をお招きし実技研修会を行った。中学部活に携る顧問先生7名、立川市連盟の指導者12名、中学生71名が参加し実施した。

今年の立川市中学生春季選手権大会の男子決勝戦を観て驚いた。高橋慶太・近藤臣成ペア(立川三中)と山崎龍一・川井駿ペア(立川三中)の対戦であった。どちらも相手に付け込まれる甘い球を打たず、熱戦であった。急所を攻め続けた高橋・近藤ベ



アが優勝したが、これまでにな
い見ごたえのある試合であった。
田中先生の実技研修会の成果
が出ていると手前勝手に喜んで
しまいました。田中先生のジュ
ニア指導理念は目先の試合に勝
つ技術を指導するのではなく将来
高校、大学、社会人に成長して
いった時、伸び続けられる基本
を身につけさせる指導である。
2. 今年の実技研修会の主要テーマ
①サービスマスラインからの返球、
ベースラインからの返球のス
イング軌道、打球前後のフッ
トワーク
②ボレーの球扱い、フォア、パッ
クのフットワーク
③ファーストサーブを成功させ
るための身体づくり
遠投による身体の使い方を実
技練習した。
非力な女子中学生には毎日30
球野球ボールで遠投練習すると
バランスのとれた身体が創れそ
うである。

インドでもダイレクトでも迎えに
いく身のこなし方の実技研修を
受けた。難しいテーマであるが
真面目に取り組み習慣づけ自分
のものにすればテニスが面白く
なるし強くなると思う。
3. 立川三中の活躍
猛練習で有名な立川三中は過
去名選手を多く輩出している。
最近では層が厚くなり団体戦でも
好成績を挙げています。打倒三中
を叫ぶ中学校も何校もあり、頼
もしい限りである。立川市の当
連盟としても指導者層の充実を
図り、ジュニア育成のバック
アップが出来るよう体制を整え
たい。

〔立川三中 平成26年度の戦績〕
1. 都大会男子団体戦7/24、
7/25 有明 準決勝（7回戦
相当）で清明学園に1-2で敗れ、
3位。清明学園は2年連続優勝。
2. 都大会男子個人戦 7/
21、7/22 有明 山崎龍一、
川井駿（立川三中）ベスト8、
5位
3. 立川三中OB 中西麻友選
手（東京経済大）平成26年度長
崎国体の成人女子都代表選手候
補に挙がっている。



立川市空手道連盟 ジュニアスポーツ大会

立川市空手道連盟
理事 神場 武勝

平成26年7月13日（日）立川
市柴崎市民体育館にて、東京都の
ジュニア育成地域推進事業として立
川市空手道連盟主管、第八回ジュ
ニアスポーツ空手道選手権大会を
百五十三名、役員、父兄百五十
名出席して開催致しました。
会場は昨年と同じ柴崎体育館
第一体育室で行われました。本年
はそれほど暑くもなくと楽に運営
出来ました。

今回はジュニア育成の観点から、
個人戦では得られない協調性、団
結心、責任感の育成を目的に団
体戦の大会といたしました。本年
は高校生、小学生は型、組み手共、
低学年（一、二年生）、中学年（三、
四年生）、高学年（五、六年生）
とし中学生の組み手は男子のみ、
高校生の組み手も男子のみで、三
人一組のチームを作り試合を行いま
した。

子供たちは組み手の時仲間の戦
いに必死の応援をし、又型では同
じ道場の仲間の試合に応援で最高
に盛り上がりおりました。

今回は会場も広く、試合、応
援も同フロアで行われたので、選手
父兄が一体となって盛り上がり、冷
房の効果も無くなるような盛り上
がりでした。

大会運営に当たり多くの父兄の

皆様に各コートの記録・選手のサ
ポート等お手伝い頂き、役員父兄
の相互理解を深めました。

尚、今回もお忙しい中、午前中
には河内会長、午後には澤部副会
長に出席いただき、子供たちへ貴
重なお言葉をいただきました。

本大会で、子供達の技術、礼儀
協調性、団結心、責任感の向上
と努力の必要性などが得られたと
思います、とても有意義な大会に
なつたこと喜んでおります。

今回で8回の開催となり全国大
会等で団体優勝（中学生）と結
果を出しております、今年も数名
の東京都強化選手を出すようにな
りました。



地域スポーツクラブ活動報告 柴崎町体育会

〔期日〕平成26年7月13日（日）
午前9時〜午後1時
〔場所〕立川第一中学校体育館

平成26年度地域スポーツク
ラブの都民参加事業として柴
崎町体育会は広く地域の方が
参加出来るスポーツとしてファ
ミリーソフトバレーボール大会を
計画し実施した。

当日は、子どもから高齢者、
約80名の方が参加し、まず怪
我の防止のため準備運動を行
い、スポーツ推進委員の指導
によりソフトバレーボール教室
を開きルール等の説明を行い、
その後、子ども（小四以上）、
一般男女・60歳以上の男女
各一人ずつチーム編成をして試
合を行った。

子どもから大人そして高齢
者のチーム編成をすることで
特に普段スポーツから離れてい
た女性、高齢者が子どもたち
と一緒に汗を流しスポーツする
楽しさと自身の健康づくり、
そして地域の親睦と絆の和が
広がったと思います。

（中村 清）



役員名簿

顧問 金子 劭一 鏗本 昌弘	相談役 遠藤 佐吉 山崎 省次 市川 智庸 大澤 敏夫 林 聖二 高橋 栄 橋本 直樹	監査 穂積 勤 佐藤 耕司	会長 河内 勝正	副会長 澤部 範儀 坂下 香澄 石川 敏浩 横田 邦夫	専務理事 荻澤 清八	常務理事 鶴澤 章 中村 清 永島 康雄	会計 宮木 博司 菅沼 洋	総務部部長 横井 有江	総務部副部長 五十嵐 治	事業部部長 仲野 輝昭	事業部副部長 大村 勇三	広報部部長 木戸口 辰雄	広報部副部長 神場 武勝	スポ少部部長 荒井 章雄	スポ少部副部長 河西 信祐	総務部 浅見 義明 伊藤 栄一郎 内海 靖子 中沢 寿 福島 恒樹	事業部 岩淵 定明 小林 克生 小林 康 齊藤 儀織 橋本 久行 藤原 宣幸 三浦 光昭 戸島 武雄 中村 伸一 土方 一成 石田 守 山内 茂穂 渡辺 英子 鈴木 一 飯塚 則久
----------------------	--	---------------------	-------------	---	---------------	-------------------------------	---------------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	--	---

● 外部団体(口数) 1口 5千円 ● 眞如苑	● 株式会社一如社	● 株式会社アイ・サービス	● 株式会社ドリミー	● 学校法人藤村学園	● 多摩信用金庫	● 大和興産株式会社	● 創価学会	立川文化会館	● ザ・クレストホテル立川	● 株式会社成和	● 立川グランドホテル	● アサヒカルピスピラレージ	● サービス(株)西東京	● ダイニチフーズ八洋	● 石川ボクシングジム	● 片小田廣治(錦町)	● 橋本剛(曙町)	● 中野裕司(曙町)	● 鈴木一廣(相談役)	● 鈴木一廣(相談役)	● 弓場 嘉久(ホームページ担当)	● 浅子 俣代	● 長島 瑠美	● 村田光男(錦町)	● 香澤智喜(石川ボクシングジム)	● 加賀英三(石川ボクシングジム)
● 内部団体(口数) 1口 5千円	● 野球協会	● ダンススポーツ連盟	● ミニテニス協会	● 水泳協会	● 武術太極拳連盟	● バレーボール連盟	● 富士見町体育会	● 合気道会	● クレー射撃協会	● テニス連盟	● 弓道会	● バドミントン協会	● 山岳連盟	● 高松町体育会	● 砂川体育会	● 新体操連盟	● 西砂川地区体育会	● 柔道連盟	● バスケケットボール協会	● 天野孝一(ミニテニス)	● 鶴澤章(ゴルフ)	● 福田一平(バスケケット)	● 荒井敏夫(バスケケット)	● 荒井章雄(バスケケット)		

平成26年度 賛助会員二覽 (順不同・敬称略)
(平成26年3月31日現在)

皆様からの協賛金は、立川市の「明日のスポーツ界を担う青少年の健全育成と中高年齢者の健康増進・コミュニティ」に役立てます。

平成一二六年度 賛助会員募集中 たちかわのスポーツ振興にご協力を

個人会員 一口 一,000円 何口でも可
団体会員 一口 五,000円
振込口座 多摩信用金庫幸町支店/普通預金 0131672
特定非営利活動法人立川市体育協会 (トクヒ)タチカワシタイイクキョウカイ (特非)立川市体育協会

スポーツ安全保険

対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故
保険期間 平成26年4月1日午前0時から平成27年3月31日午後12時まで(申込受付は平成26年3月から)

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う5名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金(円/人/年)	死亡	後遺障害(円)	入院(円)	通院(円)	賠償責任保険(支払限度額)	突然死葬祭費用保険(支払限度額)
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000円	3,000円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合計1事故500万円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 <small>(A1)区分の活動(個人活動)は、加入者ごとの活動の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額</small>	AW	1,450円	2,100円	3,150円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合計1事故500万円 ただし、身体賠償は1人1億500万円	対象外
大人 高校生以上 65歳以上 の加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体員の送迎、応援、準備、片付け スポーツ活動の指導・審判	A2	800円	2,000円	3,000円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合計1事故500万円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 葬祭費用 180万円
	子どもへのスポーツ活動の指導・審判 <small>(A2)区分でも加入可</small>	AC	1,300円	1,000円	1,500円	2,500円	1,000円	身体・財物賠償 合計1事故500万円 ただし、身体賠償は1人1億円 ◆自動車運転による賠償責任を負った場合は、補償の対象となりません。	対象外
	スポーツ活動 <small>(A2)区分でも加入可</small>	B	1,000円	600円	900円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 合計1事故500万円	対象外
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500円	750円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 合計1事故500万円	対象外

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入替、加入区分の変更はできません。※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

公益財団法人 スポーツ安全協会 東京都支部
〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内 TEL03-3481-2423
この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約)・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約)等付帯賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保(保険料)の概要についてご紹介したものです。ご加入の際は、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険料表および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

保険料の詳しい内容、資料請求は、ホームページをご覧ください。
http://www.sportsanzen.org
資料請求は、インターネットより受付しております。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成26年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 横濱セパル 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本海運 富士火災 三井住友海上
平成25年12月作成 0792-1304-B13259-201312
1701-1304-B13247-201311